

ボランティア募集 & イベント情報

鶴見・あいねっと推進フォーラム

出かけよう!
つるみはみんなが集うまち

日時 2月23日(土)13時30分～16時
会場 鶴見公会堂(鶴見駅西口)
内容
第1部: ①社会福祉功労者表彰
②基調講演『人と人とのつながり』
すずの会代表 鈴木恵子さん

第2部: 地域活動(福祉保健の取組「あいねっと活動」)の事例発表<豊岡ふらっとカフェ・よつばカフェ>

- ボランティアコーナー
- 障害児者作業所製品『鶴っこ』の展示
- フードドライブの実施
- お出かけ情報(地域別サロン、講座など)コーナー

※保育・手話通訳付き ご希望の方は2月14日(木)までに申し込みを(定員先着順)

申込・問合せ
鶴見区福祉保健課事業企画担当 ☎510-1826 ☎510-1792
鶴見区社会福祉協議会 ☎504-5619 ☎504-5616

平成31年度 鶴見区ふれあい助成金説明会

区内のボランティア・当事者団体などに対する助成金制度の説明会です。

【日時】①3月9日(土)13時～14時30分
②3月11日(月)13時～14時30分※この日のみ保育あり
③3月12日(火)10時15分～11時45分
④3月13日(水)18時～19時30分

【会場】①②④鶴見区福祉保健活動拠点(鶴見中央)
③鶴見ワークトレーニングハウス会議室(豊岡町)

【定員】先着順 ①30人 ②50人 ③60人 ④50人

【内容】助成金制度概要・申請書類の書き方など

【申込】2月28日(木)までに団体名、参加人数、電話番号を電話、FAX、メールで鶴見区社会福祉協議会ふれあい助成金担当まで
☎504-5619 ☎504-5616 ✉info@yturumi-shakyo.jp
※手話通訳・保育をご希望の方は2月15日(金)までに申し込んでください

【問合せ】鶴見区社会福祉協議会 ☎504-5619

フレンドの会「手話体験講座」参加者募集<全4回>

簡単な手話と手話コーラスを体験してみませんか?

【日時】4月4日～25日・毎週木曜10時30分～12時
【会場】鶴見中央地域ケアプラザ(鶴見中央) 【定員】先着15人
【参加費】500円
【申込】フレンドの会・鈴木 ☎090-7417-9631

幼児安全法講習会

幼児の身を守る基礎知識 ～保育あり、パパも歓迎

災害時や万一の事故にそなえ、子どもへの応急処置や心肺蘇生法・AEDの使い方などを、日本赤十字社神奈川支部救急法指導員から実技もまじえて学びます。

【日時】3月15日(金)10時～12時
【会場】鶴見区地域子育て支援拠点わっくんひろば(豊岡町・地図参照)

【対象・定員】区内在住・在勤・在学中で子育て中の人、子育てに関わるボランティアなど先着20人
※保育あり:定員5人(別途保育表送付)

・動きやすい服装で、筆記用具と大判のハンカチまたはバンダナ持参
・実技があるため腰痛や持病のある方は事前にご相談ください
・キャンセルの場合は前日までに、やむを得ず当日キャンセルの場合は8時45分～9時までに

【申込】2月1日(金)から電話で※保育希望締切りは2月28日(木)
【申込・問合せ】日赤鶴見地区委員会(鶴見区社協内)
☎504-5619 ☎504-5616



鶴見区社協より <http://www.yturumi-shakyo.jp/>

「表紙クイズ」& 愛読者アンケート

表紙の写真を見てピンときた方、ご応募ください。応募は、はがき・FAX・Eメールで、①表紙のクイズの回答②郵便番号・住所・氏名・電話・性別・年齢③福祉つるみを手に入れた場所④ご意見・ご感想を記入の上、2月28日(必着)までに鶴見区社協「アンケート係」へ。

当選は賞品の発送をもって代えさせていただきます。前号のクイズの正解は③獅子ヶ谷横溝屋敷、応募者数は67名でした。区社協ホームページにクイズのヒントがあります。ぜひアクセスを。

※「表紙クイズ」応募に関わる個人情報は、当選者への賞品発送と「福祉つるみ」紙面作成の参考にも利用いたします。

QUOカードプレゼント!

〒230-0051 横浜市鶴見区鶴見中央4-37-37 リオベルデ鶴声(かくせい)2階
☎504-5619 ☎504-5616 Eメール:info@yturumi-shakyo.jp

編集委員/岩本 登・鶴田良子・蔵本美佐子・桑島主税・佐藤智宏

福祉 つるみ 89

【第89号】2019年2月1日発行 / 編集・発行◇社会福祉法人 横浜市鶴見区社会福祉協議会 TEL.045-504-5619 FAX.045-504-5616

特集 フードバンク・フードドライブの取り組み

食べるものがあれば、
生きる力がわいてくる



ここは鶴見のどこの空? 応募方法はウラ表紙をご覧ください

6月の例大祭には70基の神輿が出ます

①鶴見神社 ②潮田神社 ③江ヶ崎八幡神社

撮影:武藤伯晃(2018年12月)

特集 フードバンク・フードドライブの取り組み

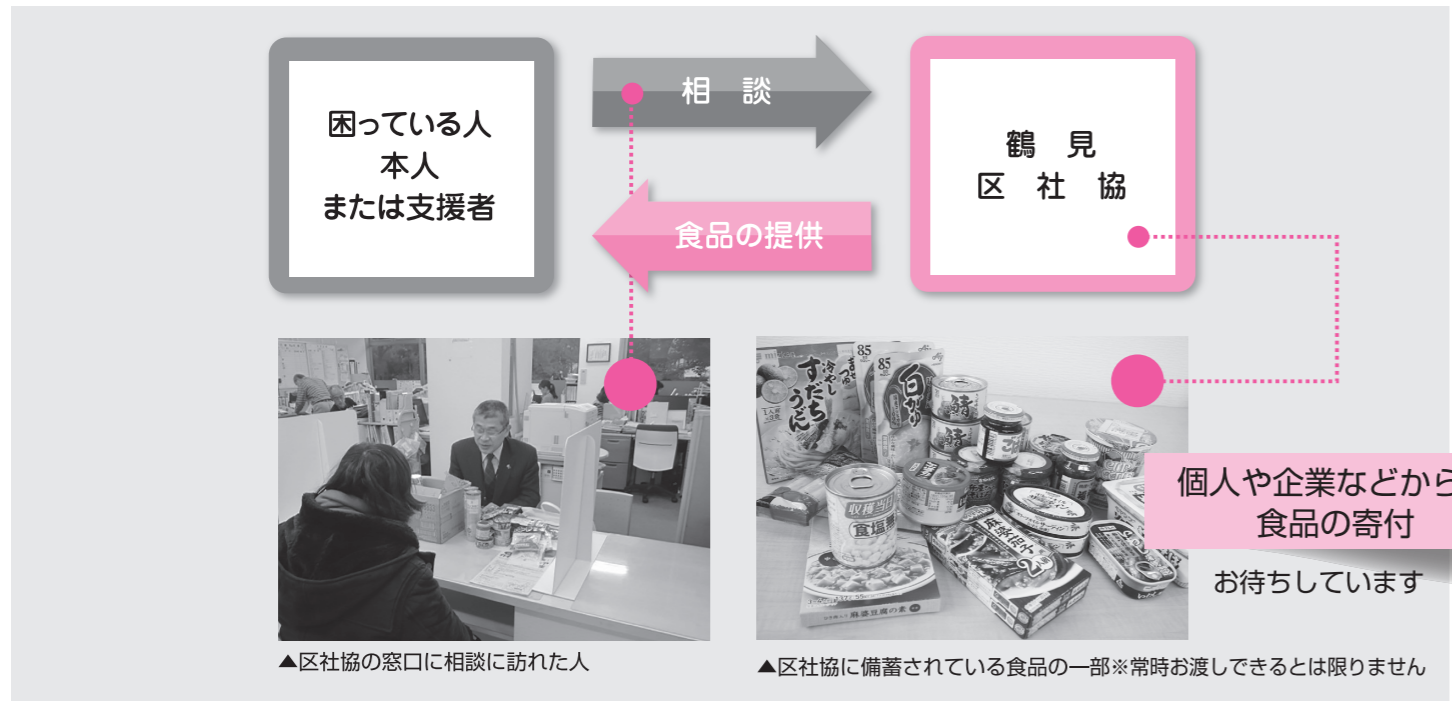
食べれば、考える余裕が生まれる。相談しやすくなる

鶴見区社協が食支援に取り組んで3年が経ち、今年から、区社協でも食品が余っている企業・個人の方からの寄付で少量のストックができるようになりました。区役所、地域ケアプラザと連携した食べる物に困っている方に対する支援の厚みが増してきました。

「水しか飲んでいません。残りの食料があとわずかしかないの…」といった方の相談を、主に地域ケアプラザや区役所を通じてお受けしています。お困りの状況や今後の生活について十分聴き取らせていただき、必要に応じて食の支援に結び付けています。

食支援により空腹状態が解消し、その後の生活について考える余裕が出たり、関係機関との相談が進められたケースもありました。

この取り組みを充実させるために、皆様の支援をお待ちしています。



皆さんのまわりで、食べることに困っている様子の人を見受けたら、鶴見区社協までご相談ください

近くのケアプラザに相談した T さん

持病のリウマチで日常生活に支障をきたすようになったTさん(50代男性)は、リウマチの再発・悪化で職を失いました。貯金も底をついて生活が苦しくなり、食べることに困り果てて近くの地域ケアプラザに行きました。

相談にのった主任ケアマネジャーから連絡を受けた区社協が、フードドライブから数日分の食料を渡し、その後はフードバンクによる食料支援も受け、Tさんは一息つきました。「プライドが邪魔をしてお金がなくなるまで誰にも相談しなかった。追い込まれて死のうと思った」と振り返ります。それから4か月、Tさんは社会保障を受け、治療を続けながら自立を目指しています。

フードバンク…食品メーカーや小売業、流通業者、農家、個人などから食料品などの寄付を受け、それを必要としている人へ届ける活動および団体の呼び名。

フードドライブ…家庭などで余った未使用食品を集め、食べ物を必要としている施設や人に寄付する活動。使わないままでは賞味期限が切れて廃棄される食品を有効活用することにつながる。

取り組みの事例

● イベントで



こんな支援をいただいています
ありがとうございます

◀鶴見区役所資源化推進担当の協力を得て「つるみ臨海フェスティバル」(2018年10月20日)で、不用になった缶詰を受付けました
会場の3R夢(スリム)ブースに設置した回収箱には、缶詰41個(約9.2キロ相当)が寄せられました

● 地域の人から



▲上末吉地区社協からの食料品の寄付をいただきました(2019年1月、右が上末吉地区社協会長の渡辺さん)

皆さんの支援をお待ちしています

区社協への物品寄付

- 缶詰、レトルト食品など
 - 未開封で賞味期限が2か月以上あるもの
- いただいた缶詰などの食品は、鶴見区社協を通じて食べ物を必要としている団体・施設、個人に渡します。

「鶴見・あいねっと推進フォーラム」会場での物品寄付

- 2月23日(土)13時30分から、鶴見公会堂にてフードドライブを実施します。ぜひ、缶詰やレトルト食品などを会場にお持ちください。
- 未開封で賞味期限が2か月以上あるもの

善意銀行寄付者

くらしに、まちに、あなたのお金が生きている

30年9月1日～12月31日受付分
()は期間中の寄付回数

- 金銭寄付者**(敬称略・順不同) ●内田八江子●大橋洋子●前川和彦(4)●鶴見区仏教婦人会●潮田地区センター●おっさんネットワーク・つるみ●公益社団法人神奈川県宅地建物取引業協会横浜鶴見支部●神奈川県土建一般労働組合横浜鶴見支部●吉澤眞一●オール市場地区社会福祉協議会・自治連合会●上村政二●地域ふれあいまつり実行委員会●海野奎吾●長谷川皓●佐々木淳●鶴見コンクリート株式会社●AGC労働組合本部●AGC労働組合京浜・研究所支部●片田由美子●鶴見乳幼児福祉センター保育園愛児の会●横山康子●東寺尾商品開発部●匿名(4)
- 物品寄付者**(敬称略) ●吉兆グループ(4)●上末吉地区社会福祉協議会会長 渡辺武●匿名(2)

寄付の方法

- ①区社協窓口への持参(月～土 9時～17時)
 - ②銀行振込
- ★物品寄付についてもご相談ください。

振込先

横浜信用金庫 鶴見駅東口支店 普通042900
社会福祉法人 横浜市鶴見区社会福祉協議会
善意銀行 鍋木 克芳(カブラギ カツヨシ)

- 「福祉つるみ」の発行費は、共同募金配分金を活用しています。
- 「福祉つるみ」では広告を募集しております。
- 一部地域では、障害者地域作業所が配布しています。
- 次号(第90号)は2019年6月1日発行です。